

きつず日本庭園

～日本庭園で遊ぼう～



JAPANESE GARDEN PARK FOR KIDS

我が国の誇る伝統文化の1つである日本庭園。

多様な自然風景の要素を凝縮させるとともに、当時の世界観も内包させた、世界でも類を見ない独自で美しい庭園様式として発展してきました。

しかし、その日本庭園も現代において、存続の危機にあります。有名庭園はともかく、各地の日本庭園の管理不足による荒廃や消失が続いています。また、住環境の変化により、西洋式の庭園や維持管理の必要のない庭が好まれる傾向となり、庭そのものを持つことすら難しい時代となりました。

そこで、今回は、身近な存在として、日本庭園と触れ合ってもらいながら、地域や文化交流、観光のソフト・プログラムとしても活用できる体験型日本庭園<きつず日本庭園>を提案したいと思います。

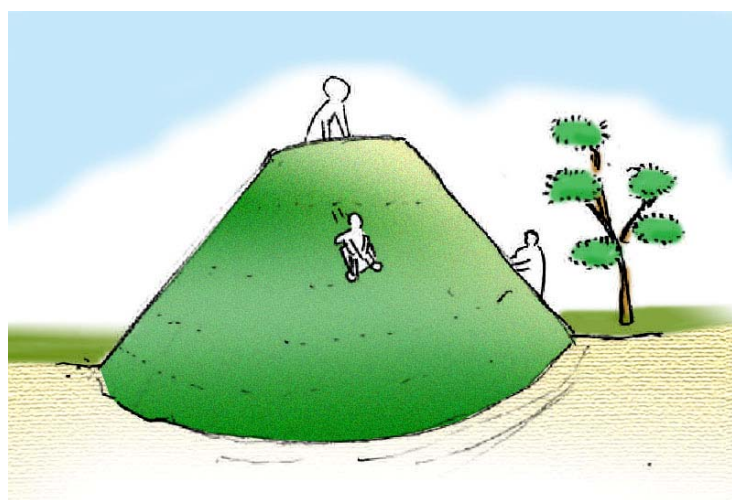
これまで鑑賞に重きを置いていた庭園文化ですが、<きつず日本庭園>では、日本庭園で培われた庭園文化を、遊びを通して、庭園の中に入って直に触って、日本庭園の魅力を体感してもらいます。

また、自然景観や環境を都市内に持ち込み愛でてきた日本庭園の技法を取り込み、地域のビオトープ拠点や、観光拠点として現代に機能させ、<地域の自然・文化拠点>として再生したいと思います。

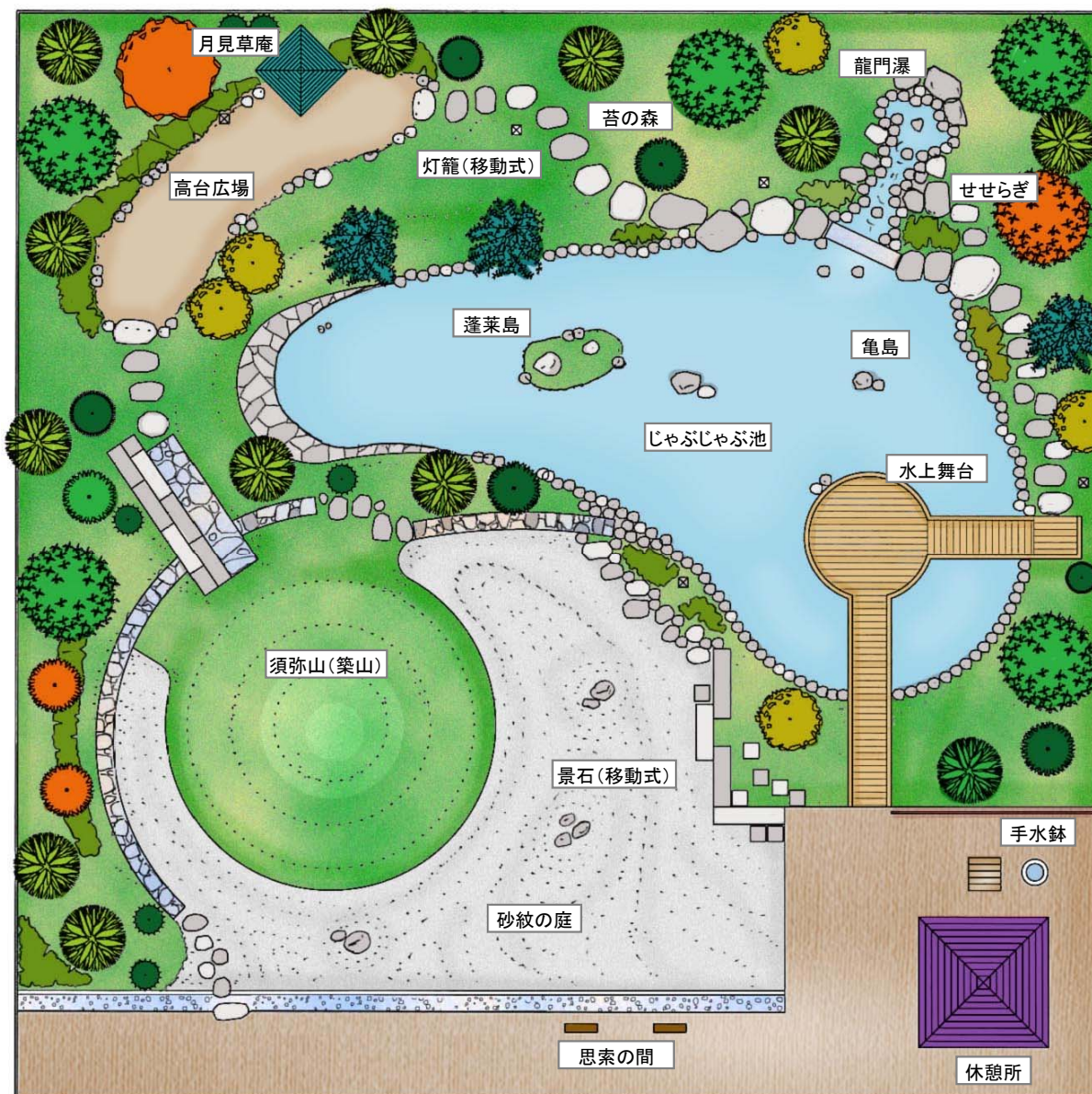
■庭園のイメージ



■日本庭園は、日本古来からの独自の自然環境を模しており、地域のビオトープ空間としても非常に意義のあるものです。日本庭園の池を子供たちに開放し、美しい水辺で思いっきり遊んでもらったり、昔あそびや、環境教育の場としても利用してもらいます。



■日本庭園には築山や、砂州など、地形を模した多様な造形が見られますが、子供たちにとっては、魅力的な遊び場です。築山からの草すべりや、砂州の砂場、景石の岩場登りなど、いろいろな自然を遊びつくします。



<主要な利用対象>

- 特に幼児から小中学生までの子供とその親
- 地域外からの観光客(観光のソフト・プログラムとして)

<つくる場所>

- 歴史的なまちなみ地域や庭園区域など、歴史的な造作がふさわしい場所
- 大規模な公園内や、里山、鎮守の森などのビオトープ創出がふさわしい場所

<管理の方法>

- 地区の庭園技術をもつ造園・植木屋さん。剪定などの管理時は一般公開制

■プログラム



■日本庭園の造作には、日本独自の文化や思想がたくさん詰まっています。プログラムの中で、そうした文化を体験します。

■景石や灯笼の配置は、優れた美的感覚や思想によって配置されますが、「きつず日本庭園」では、プラスチック性の擬石や擬灯笼を用いて子供たちの感覚で、景石や灯笼を自由に配置してもらいます。

■また、日本庭園では、石や水の造形で、様々な想像をして、庭園に活かしてきました。岩組を組み合わせたり、岩の形に空想をふくらませてみましょう。昔の庭師や立石僧は、石や灯笼にどういふ思いをよせていたのでしょうか？そんな昔の人たちの考えにも静かに思いを巡らせてみる時間(座禅)を子供たちにも体験してもらいます。

■日本庭園の枯山水などには、独自の砂の模様(砂紋)が描かれます。この砂紋や景石の配置は、大自然の水や大気、時間の流れといった世界観を表します。この砂紋を子供たちにも思い思いに描いてもらい、子供たち独自の世界を描いてもらいます。

■その他、日本庭園での苔玉づくりや、庭園管理講座、水辺の舞台体験など、積極的に利用する日本庭園を運営していきます。

